

# 令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 鹿児島県 】

学校名【 南九州市立知覧小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 32人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( )</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( 総合的な学習の時間 )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<p>○ パラリンピックやパラスポーツに対する興味関心を高め、身近に感じられるようにする。</p> <p>○ 体験を通して、インクルーシブな社会について考えることができるようにする。</p>
5 取組内容	<p>① パラリンピック・パラスポーツについて知る I'm POSSIBLE の映像資料を活用し、パラリンピックの概要を知ったり、クイズ形式で、パラスポーツについて学習したりする。</p> <p>② 車いす体験 地元の社会福祉協議会の皆様にご協力いただき、一般的な車いすの乗車体験を行う。</p>



	<p>③ パラリンピアンとの交流 リオデジャネイロパラリンピックに、女子車いすテニスのダブルスで出場された二條実穂さんに来ていただき、講演・競技用車いすの乗車体験・車いすテニスの実技体験を行う。</p> 
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実際に体験できたことで、パラスポーツはもちろん、身近な障害に対する理解が深まった。</li> <li>○ オリンピック・パラリンピックが開催される前後での学習だったこともあり、パラリンピックに向かう選手の思いを知り、諦めずに努力し続けることの大切さを改めて感じる事ができた。</li> </ul>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材「I'm POSSIBLE」を活用した。</li> <li>○ 社会福祉協議会と連携を取り、一般的な車いすと競技用車いすの違いを体験できるようにした。</li> <li>○ 「総合的な学習の時間」の「福祉」の分野と関連付けて行ったことで、負担軽減につなげた。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パラスポーツをもっと身近に体験できるような環境作りが必要になってくる（道具や講師等）。</li> <li>○ 関係機関（社会福祉協議会等）との継続的な連携を行い、来年度以降も車いすの乗車体験ができるように計画をする。</li> <li>○ 「あすチャレ！ジュニアアカデミー」等を積極的に活用すると、パラリンピックやパラスポーツの理解を深めることができる。新しい行事として取り入れるのは難しいため、本校の教育課程に関連付ける必要がある。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「総合的な学習の時間」の中で行えるよう「福祉」の分野と関連付けて行い、関係機関（社会福祉協議会等）と連携して実際の体験ができるようにする。</li> </ul>